

## 第1回 湖西市バス運行評価改善委員会 会議録

日 時：令和元年10月24日（木）15時00分～

場 所：湖西市西部地域センター 2F 講座室

出席者：15人

委員長	杉木 直	豊橋技術科学大学 准教授
副委員長	松本 光司	湖西市自治会連合会
委員	杉浦 徹衛（欠席）	湖西市老人クラブ連合会
委員	安間 明美（欠席）	湖西市社会福祉協議会事務局
委員	浮海 恵理	湖西市商工会
委員	近藤 うた子	新居町商工会
委員	河邊 登	公募市民
委員	藤井 早苗	公募市民
オブザーバー	小松田 始	国土交通省中部運輸局静岡運輸支局
オブザーバー	鷺坂 太一	静岡県地域交通課
オブザーバー	辻村 文美子	湖西市役所学校教育課
事務局	安間 祐輔	遠州鉄道(株)運輸業務部
事務局	榊原 正之	遠州タクシー(株)
事務局	良知 正規	浜松バス(株)
事務局	北見 浩二	湖西市 産業部 産業振興課長
事務局	馬淵 豪	湖西市 産業部 産業振興課 課長代理
事務局	伊藤 明生	湖西市 産業部 産業振興課 公共交通係

配付資料： 会議次第

資料1： 今年度の湖西市バス運行評価改善委員会の進め方

資料2： コーちゃんバスの運行概要について

資料3： 今年度の事業報告について

資料4： 湖西市バス運行評価改善委員会 一時評価書

## 1 開会

## 2 委員長挨拶

私は、今年度から湖西公共交通会議の座長を務めさせていただいております、その関係でこちらでも委員長として務めさせていただきます。今回対象となりますバスの問題というのは、国・どこのまちでも中々運用が難しくなっております。一方で高齢者ですとか、自動車が使えない人にとって大変大事な移動の手段となっております。これをどのように地域で維持していくか、非常に重要な会議であります。いただいた意見を地域公共交通会議へ報告をしていきますので、是非、活発なご意見をいただければと思います。

よろしく願いいたします。

## 3 議題

### (1) 今年度の湖西市バス運行評価改善委員会の進め方について

<事務局>

- 資料説明（資料1）
- 特段の意見なし

### (2) コーちゃんバスの運行概要について

<事務局>

- 資料説明（資料2）

<委員>

- コーちゃんバスの乗車定員はだいたい何名？

<事務局>

- 遠鉄タクシーさんが運行しているジャンボタクシーは10人乗り。浜松バスさんが運行している小型バスについては、路線毎で若干違いますが、20後半から30前半の乗車定員となっております。

<委員>

- 令和元年10月1日改正で17便減便とのことですが、たしか1年前から利用啓発や減便の予告や告知を行ってきたと思いますが、最初の計画がどれくらいだったのか、市民が積極的に乗車し、クリアした便数を教えていただけないでしょうか。だいたい構いません。

<事務局>

- 昨年度の事業になりますが、各便で1日平均2.0人以下の便がございました。そこから半年間かけて利用促進の啓発を車内への掲示や駅周辺でのビラ配りなどを行ってきました。対象となった便はたしか17便だったと記憶しております。そのうちたしか1便が利用が伸びて継続となったと記憶しております。

<委員>

- 減便を行った結果、市民から何かご意見等ありましたか？

<事務局>

- 夕方の便が対象となったため、浜名病院の夕方診療のためのバス利用ができなくなったとお電話がありました。白須賀地区の場合はデマンド型乗合タクシーのサービスがありますので、そちらをご案内したところ、デマンド型乗合タクシーを利用するとのことでした。補完できるサービスで対応できたのではないかと事務局は考えております。

<委員>

- 市民の方は減便されてもあまり生活に困らないので、積極的な乗車がなかったと考えてよろしいでしょうか。

<事務局>

- 決して生活に困らないというのではなく、皆様の生活スタイルをバスの時刻表に合わせることでできた方もいらっしゃるのではないかと思います。

(3) 今年度の事業報告について

<事務局>

- 資料説明（資料3 P1～P14）

<委員>

- A評価、B評価と書かれてある根拠は、P2 に書かれてある「コミュニティバス評価基準」だと思いますが、こちらは国全体の一律的な基準があるのでしょうか。

<事務局>

- 国・県等で定められた基準等はありません。あくまで、市の参考数値として定め、公共交通会議にて承認され、今回評価しております。

<委員>

- 他の市と比べることはできなくて、湖西市の中で毎年の変化に使えるという解釈でよろしいでしょうか。

<事務局>

- おっしゃるとおりです。

<委員>

- P11 の下の表に、浜名病院行きとなっておりますが。

<事務局>

- 誤りになりますので、次回資料までに訂正します。正しくは、横山会館行きになります。

<委員>

- 利用者一人当たりの負担額は、「1便あたりのコスト」を「利用者」で割っているという考えでよろしいでしょうか。

<事務局>

- 基本的には、1路線に対し1台の車両で現在運行しております。その全体の経費を便数で割り、各便の乗車人数で割っております。

<委員>

- 単価が高くなるほど不合理、少なくなると合理的だということによろしいでしょうか。

<事務局>

- おっしゃるとおりです。正確に申し上げますと、全体経費から運賃収入及び国庫補助金を引いております。その後乗車人数で割っております。

<委員>

- P9の岡崎循環線について、この評価で宜しいですか？

<事務局>

- 大変申し訳ありません。誤りになります。再度精査します。

<委員>

- 免許を返納された方に2年間無料乗車券を発行しておりますが、その人数はこの中にどのように表れていますか。

<事務局>

- 延べ利用者数の中に含まれております。利用者1人当たりの負担額を計算する際にも含まれております。

<委員>

- ですが、実際には料金をいただいていないということですね。

<事務局>

- おっしゃる通りです。

<委員>

- その計算で宜しいのでしょうか。そこは考慮して方が良いのでは。

<事務局>

- 運賃はいただいているが、運賃を払ったとみなしてということでしょうか。

<委員長>

- 免許を返納された方が実際に乗車して運賃を払わなかったとしても、その方が多くなればなるほど一人当たりの負担額は少なくなります。仮にその人数を抜いてしまうと、一人当たりの負担額は上がり、非効率な運行に見えてしまいます。その方が運賃を払わずに乗っているという事実を踏まえた上で多く乗っている状態であれば、一人当たりの負担額は少なくなるという計算になります。そういった指標として考える上では、人数に入れた方がよろしいのではと思います。

<委員>

- 前年度の資料と今回の資料を比較して、P2のH30利用者数がずれています。どちらが正しいでしょうか。

<事務局>

- 前年度との整合性が取れていないということでしょうか。確認して次回ご説明します。

<委員長>

- 委員として、この数値を基に評価しますので、委員が評価する前にいただきたいです。

<事務局>

- 全体を精査した上で、改めて資料を郵送するなど何らかの形でお伝えさせていただきます。

<委員長>

- 利用者1人当たりの負担額について、Cの減少を悪化にした方がよろしいのではないのでしょうか。

<事務局>

- 表示方法も含めてわかりやすいように修正します。

<委員長>

- どれくらいの%だったのかの情報を載せた方が良いと思いました。

<事務局>

- 追記します。

<委員>

- 便毎の評価ですが、田舎から街へ行く路線がほとんどだと思いますが、1便ずつやるとどうやっても評価はAとCの往復になると思います。バスは往復で運行しているので、コスト面では1往復トータルでの評価の方が宜しいのではないのでしょうか。

<事務局>

- 便毎の評価はおっしゃるとおりで参考で表記しております。全体としては、路線全体としての評価を事務局としましては捉えていきたいと考えております。

<委員長>

- 1日を通して利用者がどれだけデコボコしているかを見るのが便別ということですね。評価基準はこの委員会でも議論して宜しいのでしょうか。

<事務局>

- この委員会で議論していただいて公共交通会議に諮るということで宜しいと思います。より良い評価を目指していきたいと考えております。

<委員長>

- 今の100点満点の評価だと分かりづらい部分があると思います。少しシンプルに評価してもよろしいのではと思います。

<事務局>

- 今年度は恐縮ですがこの評価のまま進めさせていただきながら、評価の在り方自体を1から皆様に分かりやすい評価に見直していきたいと思います。

<事務局>

- 資料説明（再開）（資料3 P15～P24）

<委員>

- 小学校2年生の乗り方教室はいつからされてましたか？

<事務局>

- おそらくは平成25年度からではないかと思います。

<委員>

- 意見でも質問でもないですが、近所に小学生がいる家族がコーちゃんバスの乗り方を家庭で教えていたのを見て、良いことだなと思いました。天浜線の小学生入学記念乗車券ですと他事業者となり、有料になりますが、コーちゃんバスであれば事業が行えるのではないかと思います。

<事務局>

- 高齢者に対しては、福祉部局にて75歳以上の方を対象としたバス・タクシー券を申請に基づいて発行しております。今後の事業の参考にさせていただきます。

<委員>

- 小学生乗り方教室ですが、夏休み50円バスの広報を行うためにも1学期に実施した方が良いのではないのでしょうか。教室を行い乗り方を知った上で夏休みにバスに乗ってもらう流れの方が良いのではと思います。

<事務局>

- 事務局としてもそのようなスケジュールで行いたいと考えておりますが、学校行事や暑さの関係もありますので、どうしても9月の開催が市内5校中3校ございます。

<委員>

- 先ほど松本さんがおっしゃったとおり、親向けにもPRする良い機会と思います。

<委員>

- 免許返納者のコーちゃんバス無料乗車券について、もっと周知を徹底したら良いと思います。私自身も知らなかったです。市民の方は、乗り方は知らない、時刻表はないという状態だとバスに乗らなくなります。

<事務局>

- 免許返納者に対して無料乗車券を発行する際は、必ず市役所窓口に来ていただいて即日発行しております。お作りする時間が10分20分ありますので、その間バスの説明をしております。中には免許を返納したからバスには乗らないけど無料乗車券を取りに来たという方もいらっしゃいます。

<委員>

- P22の交付申請者の住居地や生活状況を聞き取りと書いてありますが、例えば家族の中で車を持っている方は発行しないとか、そういった所は関係ありますか？

<事務局>

- そういった所は関係ありません。生活状況を聞き取りという部分については、例えば、自宅や行きたい施設などを質問し、自宅からの最寄バス停や路線やバス停の出発時間などをご案内しております。時刻表もその際に合わせてお配りしております。また、庁舎や各公共施設、バス車内にも置いております。

#### (4) 湖西市バス運行評価改善委員会 一次評価書

##### <事務局>

- 資料説明（資料4）

##### <委員>

- P1の浜名線について、自己評価が「-」になっています。これであれば通常妥当性及びコメント欄は斜線となるはずですがいかがでしょうか。

##### <事務局>

- 自己評価が抜けておりました。正しくは「B」になります。大変申し訳ありませんでした。

##### <委員長>

- 基本、○×△を付ける時は、自己評価のABCは変わらないけど、文章の加筆が必要であれば△、ABCが違うと思えば×で宜しいですか？

##### <事務局>

- その解釈で間違いありません。また、書いてあることがよく分からないといった場合については、事務局に電話にてお問い合わせしていただくか、資料4にその旨を記載していただければ、第2回の委員会にて説明いたします。

##### <委員>

- ④の県境を越える新設路線について、何回くらいだれとやられましたか？

##### <事務局>

- 今年度については、12月に豊橋市のバス担当者2名と打ち合わせを行いました。内容としましては、双方の公共交通の現状の情報交換、また、具体的な内容としましては、新所原駅周辺の県境になります。需要ニーズの有無を双方の意見を交換しましたが、具体的な数値は出ませんでした。JRが運行しているため需要ニーズはそれほど多くはないだろうとの結論にはなりました。今後も引き続き打ち合わせを行っていきたいと考えております。

##### <委員>

- 白須賀地区の西側の国道一号線を運行しているバスの話はなかったですか？

##### <事務局>

- 豊鉄バスが運行しておりますが、白須賀地区を通過して新所原駅南口に乗り入れてくれないかという構想も説明しました。利用者が少ないのではとの予測から、民間バスになりますので、ある程度の収益が必要ではないかと思われますので、具体的な案にはなりません。

<委員>

- 今後の展望に向けての感觸的にはどうでしたか？良い方向に向かっていきそうですか？それとも難しいですか？

<事務局>

- 感覺的には行政レベルでは難しいと思われまゝ。今年度、豊橋市原町自治会長OBの方が当市長に陳情に来て、コーちゃんバスを走らせてほしいという話に立ち会った経緯がありますので、区域の部分については、継続して検討していかなければならないと思っております。

**閉会**